近世22.7-14-177

14-177

天保十三壬寅年正月吉日
板元 秋田屋太右衛門

四條北側
大芝居
歌舞伎
狂言番付

代鯉丁字屋太郎

新狂言 東海道五十三次

前狂言
稲荷の縁起
小狐小太郎の聚

一番壹 浅草寺の境内小賽の艶姿八今盛ル 花王草
一番貳 裏田甫の春夜ハ情実ハ同じ二人ル 齋菖草
一番參 内祝言の閨枕ハ寄はめりて嫉妬ル 蛇苺草
一番四 隠亡堀の樋口へ流寄る板戸ル 鬼百合草
一番五 良業の倫盗人ハ世ハ亡鬼ハ中ハ義ル 鶯陰草
一番六 賤女の七夕祭ハ夫と恨む夢路ル 美人草
一番七 復讐の曠小神ハ古郷へ錦繡ル 金銀草

切狂言 川崎宿頭巾東鑑 三幕

序幕 狩の山の城 二田町の宿 出ル
二まく目 大くら 傳の名
三まく目 大切 鳥羽隠家 ぐんぐん
大切 弦 十人伐のぐんぐん

狂言作者
鶴屋雀蔵 鶴屋雀蔵 鶴屋雀蔵
桂雀蔵 桂雀蔵 桂雀蔵
松川宝助 松川宝助 松川宝助
千代亀万蔵 千代亀万蔵 千代亀万蔵
大叶屋 大叶屋 大叶屋

東京大学文学部・人文社会系研究科
Universiry of Tokyo Faculty of Letters / Graduate School of Humanities and Sociology
東京大学文学部・人文社会系研究科
Universiry of Tokyo Faculty of Letters / Graduate School of Humanities and Sociology